

平成 25 年度 自己評価結果を踏まえた学校関係者評価報告書

柴田町立槻木中学校

1 評価期間 平成 25 年 12 月～平成 26 年 2 月

2 学校関係者評価委員

卯花 正弘 (委員長), 加藤 盛 (副委員長),
松田ゆう子, 伊東 潤, 高橋 謙一, 加藤 幸恵, 高橋 英嗣,
佐藤 博, 村上 春江, 佐藤 伸弥

3 評価規準

- 妥当である。 (適切な取組で、次年度へ向けての取組も妥当である)
- 妥当でない。 (取組が不十分で、次年度へ向けての改善策も妥当でない。)
- 判断することができない。

※自己評価の数値の算出方法

教職員の自己評価で、A：大変良い・・・10点、B：良い・・・5点、C：課題がある・・・-5点、D：かなり課題がある・・・-10点とし、各項目の合計点数を教職員数で割った値。

4 評価項目

1. 地域に支えられ「地域と創る学校」づくりの推進

		自己評価	関係者評価
(1)	学校運営に対する地域住民・保護者等の参画と意見・要望の反映を図り、信頼される学校づくりに努めている。	5. 6	妥当である
(2)	学校の教育内容や実践を、保護者や地域に積極的に公開し、開かれた学校づくりに努めている。	6. 3	妥当である
(3)	保護者の支援や地域の教育力を生かし、学校の教育活動の一層の充実を図っている。	5. 4	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(1)	本校重点努力事項各項について、保護者からも評価が得られた。次年度も、よりよい教育活動を目指し地域や保護者に信頼される学校づくりに努めたい。	・妥当な評価である。	
(2)	学校だよりを中心に学校の様子を知らせた。特に、授業参観等、各行事により多くの保護者や地域の方が参加できるよう知らせてきたが、今後も工夫が必要である。		
(3)	地域事業所との連携を図り、今年度は特に防災にかかわる活動の充実に努めた。今後も、地域人材の活用を積極的に図りたい。		

2. 「学力向上」と新学習指導要領の趣旨の徹底

		自己評価	関係者評価
(4)	「学力向上」を目指して、指導方法の工夫・改善を図るとともに、個性を生かした楽しく分かる授業の実践に努めている。	5. 2	妥当である
(5)	学習意欲の向上と生活習慣・学習習慣を改善し、主体的な学習を促して基礎学力の向上に努めている。	2. 7	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	

<p>(4) 生徒にとって分かりやすい授業づくりに努めてきた。進度の調整をしながら少人数指導や個別指導を工夫するなど、指導方法の改善に取り組んでいきたい。</p> <p>(5) 基礎学力の向上を目指すためにも、基本的な生活習慣について指導を強化し、また、家庭学習の充実を図るための指導法を工夫しながら、学習習慣の改善を図っていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆとり教育」が原因で、競争心や意欲がない子どもが増え、学力にも影響しているのではないかと。 ・家庭学習や自主学習への取組について、家庭でどれだけ把握しているかも重要であり、小学校から継続させた指導が必要である。 ・小中連携が大切である。 ・家庭での生活習慣も影響するのであり、生活習慣や学習習慣の改善に対する保護者の意識も高める必要がある。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 豊かな人間性を育む道德教育の充実

	自己評価	関係者評価
<p>(6) 「道德の時間」の実施時数の確保と指導方法の工夫改善を行い、道德的実践力を高めるとともに、教育活動全体を通じた道德的実践意欲の向上に努めている。</p>	5. 0	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見
<p>(6) 「道德の時間」で指導したことが諸活動に生かされ、成果が表れるような指導法の工夫・改善に努め、道德的実践力の向上につなげていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でのしつけや生活習慣も重要。 ・道德教育は、「人に迷惑をかけない」「周りに流されない」意志を育てる点でも重要である。 	

4. 生命の尊重と社会性の育成を図る生徒指導の充実

	自己評価	関係者評価
<p>(7) 「いのちと心を大切にすること」及び「良好な人間関係をつくること」が重要であるという共通認識のもと、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。</p>	5. 4	妥当である
<p>(8) 児童生徒の発達段階にふさわしい生徒指導を推進し、家庭と連携して基本的な生活習慣の育成に努めている。</p>	5. 6	妥当である
<p>(9) 児童生徒に自己の特性を、理解させるとともに能力・適性や興味・関心等に基づいて将来の生き方を考えさせる志教育・キャリア教育の充実に努めている。</p>	5. 2	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見
<p>(7) いじめアンケートによる調査等からもその実態を把握し、いじめをなくす指導の徹底を図った。今後も、いじめや不登校への対策を重要視し、生徒が抱える諸問題に対応できるよう努めたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な評価である。 	
<p>(8) 時間や約束を守る、真剣に授業を受けるなど、基本的な生活習慣について指導に力を入れてきた。さらに家庭との連携を図っていききたい。</p>		
<p>(9) 協働教育事業のひとつであるキャリアセミナーについて、今年度は2つの学年を対象に実施しその内容の充実を図った。次年度も、自己の適性や能力に気づかせられるような様々な体験活動に取り組ませたい。</p>		

5. 安全・安心な教育環境の整備・促進

	自己評価	関係者評価
<p>(10) 児童生徒の安全に対する意識を高めるための指導や「防犯教室」を実施して児童生徒の安全確保に努めている。</p>	5. 6	妥当である
<p>(11) 地震災害等を想定した「避難訓練」「引き渡し訓練」「防災教室」を実施している。</p>	8. 5	妥当である
<p>(12) 「子ども見守隊」「安全パトロール隊」など地域の支援を受けて、通学路の安全確保や地域の巡回などを行い、事故や事件の被害を未然に防止している。</p>	6. 7	妥当である

(13)	生涯体育・スポーツの視点に立ち、健康でたくましい児童生徒の育成に努めている。	3. 8	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(10)	今年度「防犯・非行防止教室」を実施し、安全に対する意識を高めさせた。さらに、不審者対策もふくめた安全指導の充実を図りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・事故を未然に防ぐ意識を高めさせたい。 ・不審者にかかわる事件や事故を防ぐためにも、人を見る「目」を育てなければならない。 	
(11)	避難訓練により、新しい避難経路や避難時の心構え等の指導を行った。今年度は「引き渡し訓練」を行い、災害に対する意識をさらに高めさせることができた。		
(12)	不審者情報等のメール発信や放課後の地域巡回などにより、生徒の安全確保や事件・事故の未然防止に努めてきた。今後も継続していきたい。		
(13)	体育の授業や部活動での指導工夫を中心に、集団生活におけるより健全でたくましい生徒の育成に努めてきた。		

6. 特別支援教育の充実

	自己評価	関係者評価	
(14)	「特別支援コーディネーター」を中心に、児童生徒一人一人のニーズに応じた指導を行っている。	4. 6	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(14)	特別支援学校との連携を図りながら、特に支援を要する生徒への指導の充実に努めた。特別支援教育についての共通理解を図りながら、今後も生徒のニーズに応じた指導ができるようにしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な評価である。 	

7. 国際理解教育の促進

	自己評価	関係者評価	
(15)	自国文化に対する理解を深めるとともに、他国文化に学ぶ国際理解と国際化に対応した教育の推進に努めている。	2. 5	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(15)	英語科におけるALTの有効活用による国際理解教育の推進に努めてきた。今後さらに、他教科においても諸外国への関心を高めさせるような指導を工夫していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイ等、町全体での推進も必要ではないか。学校だけでは、なかなか難しい。 	

8. 情報教育の推進及び学校図書館の充実

	自己評価	関係者評価	
(16)	高度情報化社会に適切に対応していくことができるよう、各教科に応じた情報活用能力の育成を目指す情報教育の推進に努めている。	3. 8	妥当である
(17)	学校図書館を整備し、児童生徒の読書活動の充実に努めている。	6. 3	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(16)	技術科や総合的な学習の時間、英語科、数学科、道徳の時間等で、コンピュータや電子黒板を積極的に活用し情報活用能力の育成を目指してきた。さらに有効に活用できるよう研修を進め工夫していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な評価である。 	
(17)	図書館が新しくなり、積極的に活用できるようになった。さらに図書を増やし、学年・学級文庫の導入等の工夫をしながら、読書活動の充実に努めたい。		

9. 学校校地の自然環境の整備と自然体験学習の推進向上

		自己評価	関係者評価
(18)	校地内に花と緑の潤いのある教育環境をつくとともに、児童生徒の自然体験学習の充実に努め、自分たちの住んでいる地域の自然環境を守り大切にしようとする心の育成に努めている。	5. 8	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(18)	地域や保護者の協力をいただき、緑化や花壇整備を行ってきた。今年度後半より校庭整備工事が入ったため、その後の環境づくりの推進にも努めていきたい。	・畑づくりなど、食料の生産を学べる環境や自然体験を大切にしたい。	

10. 教職員の資質及び指導力の充実・向上

		自己評価	関係者評価
(19)	教職員の自己研修を促し、指導力向上を図るとともに、学校課題の解決を図る校内研究・校内研修を積極的に推進している。	5. 2	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(19)	生徒にとってよりよい学習環境となるような指導法の工夫と改善を図るため、校内研究・校内研修の充実に努めてきた。今後さらに、外部講師や校内の人材を有効に活用した研修を図りながら、教職員の資質向上に努めたい。	・妥当な評価である。	

11. その他

		自己評価	関係者評価
(20)	子供たちと一緒に話をしたり、教育相談をするなどのふれ合う機会を多くつくっている。	5. 2	妥当である
(21)	子供たちは充実した学校生活を送っている。	4. 8	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(20)	可能な限りチャンス相談や二者面談等を行い、生徒の実態把握と早期の問題解決に努めた。生徒と接する時間の確保について、今後も大切にしていきたい。	・妥当な評価である。	
(21)	多くの生徒が充実した学校生活を送っている。いじめのない、より望ましい人間関係や集団生活を保てるよう指導し、安心して生活できるような学校づくりに努めていきたい。		

12. 教育目標について

		自己評価	関係者評価
(22)	教育目標「心豊かで、たくましく、生き生きと学ぶ生徒の育成」が、学校の教育活動において具現化されている。	5. 2	妥当である
自己評価結果から次年度へ向けて		学校関係者による主な意見	
(22)	教育目標を具現化するために、重点努力事項に重きを置き、年間指導計画に沿って教育活動を推進してきた。学習・生活規律など生徒指導の基本となる部分を最重要視しながら、生徒がより生き生きと学べるような教育活動が展開できるよう努めていきたい。	・妥当な評価である。	

◆その他:学校関係者による主な意見